



一人ひとりの夢・思いを大切に

No.165

2025/10/1 発行

しなふく ニュース

品川総合
福祉センター
公式サイト



▲タイ王国大使ご夫妻と大使館の皆さま、かえで荘、かもめ園、さつきの利用者と共に
(8面に関連記事あり)

2P 人命救助に大きな拍手を！

3P 苦情解決第三者委員会

4P 売店「はなみずき」紹介

5P 夏の思い出 かもめ園知的 | 八潮 SC

6P 地域とのつながり

7P 豆知識 | らうんじ

8P しなふくの窓 | お知らせ

人命救助に大きな拍手を！

八潮中央保育園・八潮北保育園 職員 2 名が人命救助で表彰



▲東京消防庁より表彰いただきました

昨年12月14日朝、八潮5丁目かもめ橋の路上で心肺停止の状態の男性に対し人命救助を行ったとして、八潮中央保育園の菊地美穂職員と八潮北保育園の鷹橋恭子職員が東京消防庁から表彰されました。

出勤途中の菊地職員が前方に倒れている方とその方に声をかけている地域の方を発見。男性は既に反応がなく、胸の動きもなく危険な状況であったので、地域の方が救急車を要請対応。菊地職員が心臓マッサージをしているところへ、鷹橋職員が通りかかり、すぐに交番へAEDを取りに走ったそうです。AEDを使いながら、職員二人と地域の方で心臓マッサージを順番に行い、その後救急車に



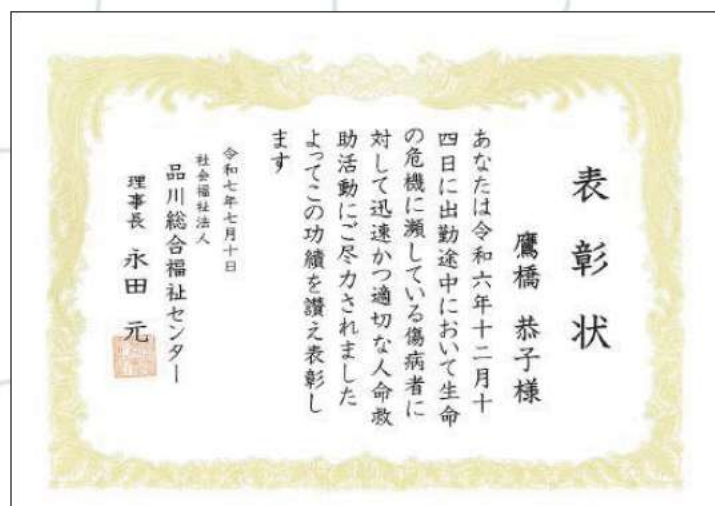
▲法人からも表彰をうけました(中央左鷹橋職員・右菊地職員)

引継ぎ、無事救命できたそうです。

菊地職員と鷹橋職員は所属施設は違うものの、顔見知りで、菊地職員は不安な中、鷹橋職員が合流したことで安心し二人で力を合わせて落ち着いて行動できたと話していました。この日は各保育園では行事の日で、仕事のことが頭をよぎりながらも目の前の人命を優先に対応されたお二人。救命救急講習の受講経験があったものの、練習でない初めての心臓マッサージに迷いながらも、必死に行ったことで命が繋がったことに、深い安堵感を感じたそうです。お二人の勇気のある行動・功労に拍手を送りましょう。



▲東京消防庁からいただいた感謝状



▲法人からお二人の功績を讃えて…

苦情解決第三者委員会

令和6年9月2日に第46回、令和7年2月27日に第47回
苦情解決第三者委員会を法人本部で開催しました。

第46回

第46回では第40回～第45回で報告した件の経過報告と、1件の新規苦情案件を報告し、ご意見とご助言をいただきました。

お預かりしたメガネを紛失した件（経過）

ご意見

- ①貴重品チェックリストの活用、写真での管理については確実な運用を確認した
- ②ご家族との関わり方について、ご家族の心情に鑑みながら、施設として出来る事を考えていけるとよい

冷房の二十四時間稼働を要望する件について（新規）

冷房稼働の際、機械のクールダウンのための時間を設けているということであるが、暑さが厳しい状況の中、冷房が効かない時間があることは苦痛を強いている。以前より、改善を求めているが、対応が変わらない為、第三者委員会の専用ダイヤルに入電。利用者ご家族より、二十四時間稼働の要望。

ご意見

- ①クールダウン時間を設ける際は、個別空調を使用できるよう設置したという報告あり
- ②他の事業所においても同様の事態が起きていないか、調査し、利用者が快適に過ごせるように努める
- ③要望を挙げていても対応が変わらずに専用ダイヤルへの入電に至った経緯については、家族への丁寧な説明、対応が必要
- ④専用ダイヤルの在り方については、再度検討

第47回

第47回では第40回～第46回で報告した件、第46回で報告した件の最終経過報告を行い、ご意見とご助言をいただきました。

お預かりしたメガネを紛失した件（最終）

ご意見

- ①今回の出来事を時系列で追い、客観的に見た場合、職員はどのような心情を抱いたのか等、感じたことを発表し合う場を設ける

冷房の二十四時間稼働を要望する件について（最終）

ご意見

- ①クールダウンの時間は設けながら、個別空調で対応する方法が確立できたことで、利用者が快適に過ごせている事は望ましい

ご意見・ご要望はこちらへ

施設サービスに対するご意見・ご要望は委員宛にご連絡ください。

また、社会福祉法人品川総合福祉センターの各事業所玄関に設置している「声のポスト」へ、お手紙を入れていただくことも可能です。

☎ 0120-37-4729

受付時間：月～金 9時～17時（土日祝・年末年始を除く）

苦情解決第三者委員

一ノ瀬 俊吉 / 中山 武志 / 野田 律子 /
深澤 佳美 / 古川 繁子 / 吉岡 卓（五十音順）



売店「はなみずき」紹介



▲リニューアルしたポスター



▲お菓子や日用雑貨などおいてます



▲冷たい飲み物とアイスクリームもあります



▲かわいい赤い屋根の販売カート



▲かもめの自主製品販売も

売店「はなみずき」は今年の4月に福祉工場しながわ第2業務「パン工房プチレーブ」移転に伴い、本部1階へ20年ぶりに戻るようになりました。

昨今の資材及び工事業者の職人不足もあって売店を建てるよりカートのようなもので販売はできないかと考え、昨年5月から移転準備として探し始めました。イメージはららぽーとなど商業施設で見かける車輪のついた大型の販売カートでしたが、なんと驚きの価格…1台300万円！その後も色々探すも販売カートって高いのです。ある時に千葉県某所にて東南アジア雑貨や塩を販売している業者を知ることになり、現在使用しているインドネシア製のカートに出逢いました。ご夫婦で経営されていて社長さんの人柄がよく、世間話を交えながら数回交渉を進めていくと中古ですが2台で40万円と破格で譲っていただくことができました。運搬手配など大変でしたが無事納入することができました。

またデザイナーに依頼し新たに立て看板や案内ポスターなど作成しています。規模は以前の売店と比べてしまうと品数が少なくなりましたが、職員と利用者でアイデアを出し合いながら装飾し、仕入れの商品も工夫しています。かもめ園のビーズ作品やさつきの花ふきんも販売していますので、品川総合福祉センターへお立ち寄りの際には是非売店「はなみずき」にもお立ち寄りください。

夏の思い出



かもめ園知的



令和7年7月7日、スリーセブンで縁起が良い今年の七夕。願いも強力に叶いそうな日にかもめ園では七夕行事を開催しました。短冊に各自願い事を記入し笹に付けて七夕の雰囲気を楽しみました。

短冊作成では、鉛筆で絵を描く方・色鉛筆で書かれる方など、各自好きなように願い事を短冊に書かれていました。

短冊作成の後は、皆さんの楽しみであるアイスクリーム大会を開催。短冊作成の時より目を輝かせカップに乗せたアイスをご覧になっていました。



（右）トッピングされたアイス
美味しい
（左）みんなの願いごとが
叶いますように

アイスは王道のバニラ味で、そのまま食べる方・チョコソースをたっぷり掛ける方・イチゴソースやクリームで各自オリジナルのアイスを作りました。皆さん普段見られないおいしい表情をしていて、その表情が満開のひまわりのような笑顔でした。

行事の締めには、各自の願い事がしっかり叶うように、全員で記念写真を撮り行事を締めくくりました。

今年は、中止となっていたデリバリー食や個別外出も復活し、利用者の楽しみの部分も大事にしていきます。

八潮SC



（右）アロハのポーズで
「こんにちは」
（左）ウクレレで
ハワイアン気分最高

八潮在宅サービスセンターでは夏の恒例行事として毎年8月に『変わり湯』を実施しています。昔から5月の菖蒲湯と12月のゆず湯は有名ですが、こちらの変わり湯も利用者の皆さんに認められ、毎年その期待値も高まっています。昨年はフルーツの湯で、柑橘系の果物でフレッシュな香りや爽やかな雰囲気を演出しました。その前の年は豪華絢爛にバラの湯をお楽しみいただきました。

そして今年は「ハワイアン」の湯、というテーマで、お湯の色はブルーハワイ。ハワイアンミュージックをBGMに、お風呂場を見事

にリゾートアイランドへと変え、非日常的な異国情緒あふれる空間でお楽しみいただきました。職員や利用者からは♪アロハ〜♪という挨拶が自然とでてきます。この夏の暑さもあり、浴槽に浸かることを遠慮する方も少なくない中で、「せっかくだから入ってみるか」とハワイ湯で温まる方も多くおられました。

これからも皆さんに楽しんでいただけるように、プレミアムな入浴を提供してまいります。



地域との つながり

「しなふく食堂」好評！
つながり、広がっています



▲食堂に皆あつまれ～！



▲4月20日の食堂メニューは皆大好き
カレーライス

今年度4月から、どなたでも利用できる『しなふく食堂』を毎月開催しています。

食堂開催の機会は、児童・障害・高齢の枠にとどまらず、すべての人の幸せのために社会的なニーズに目を向け、居場所・孤立防止等さまざまな問題解決への糸口となるきっかけとなることを願ってスタートしました。令和4年度から開催しているヤングケアラーに関する福祉啓発講座や福祉教育の場で、関わった関係者や参加して下さった地域住民や子どもたちから、「出会い・つながる」ことの重要性和「居場所」の必要性を感じています。

月に1回約2時間で開催している食堂は200円で参加できます。食後はセルフドリンクコーナーやゲームを楽しんだり、おしゃべりをしてゆっくり過ごすこともできます。帰りにはパン工房プチレーブのパンや寄贈物品を無料で持ち帰っていただけます。地域住民の方から「信頼できる品川総合福祉センター」として求めている声にこれからも応えていければと思っています。

中延複合施設での取り組み

「認知症の方の移動支援(車椅子体験講座)」

令和7年5月30日(金)に中延複合施設1階食堂にて「認知症の方の移動支援(車椅子体験講座)」を開催しました。あいにくの雨模様でしたが、当日は17名の方にご参加いただきました。

車椅子の操作方法の講義の後、段差や坂道における車椅子の介助方法を体験していただきました。参加された方からは「車椅子は、力だけではなく身体全体を使う必要があることを理解できた」といった感想をいただきました。

今回の講座開催にあたり、中延特別養護老人ホーム・中延在宅介護支援センターだけでなく、日頃地域に住む高齢者を支援している荏原第4地域支え愛ほっとステーションや福祉用具事業所と一緒に計画し準備をすすめてきました。誰でも暮らしやすい地域を目指し、地域づくりの活動を展開できるよう努めていきます。



▲最後は実際の坂道を車いすを操作していただきました



▲中延特養職員によるお手本を見ていただきました

豆知識

「福祉用具」って??

福祉用具という言葉聞いた事がありますか？福祉用具とは介護や介助が必要な方の日常生活をサポートする為のものです。車椅子・歩行器・杖・手すりなどが代表的なものとして挙げられますが、日常の中で様々な福祉用具が存在します。今回は片麻痺の方が雨天時にどのようにしているのかについてご紹介します。

実は傘の補助具は市販されているものはほぼありません。その為雨天時の外出は合羽が主流ですが、着脱が大変で雨天時の外出はとてもハードルが高く傘をさして外出したいという声を沢山耳にします。そこで、当法人の機能訓練事業所では片麻痺の方でも傘を使用できないかと模索をし、理学療法士と作業療法士が案を出し合い3Dプリンタで“傘の補助具”を作りました。訓練の中で傘を装着する練習を行い、麻痺のある方が雨天時でも傘をさして外出ができる事を目指し現在も試行錯誤しています。

福祉用具は選択の幅を広げ、日常生活の質を高めます。代表的なものだけではなく、日常生活の中でどうしたらその方が生活しやすいかという視点を持ってひらめく物も立派な福祉用具です。日常の中でどんな福祉用具があったら良いか考えてみるのも楽しいかもしれませんね。



らうんじ



暑すぎた夏がようやく落ち着いて参りました。

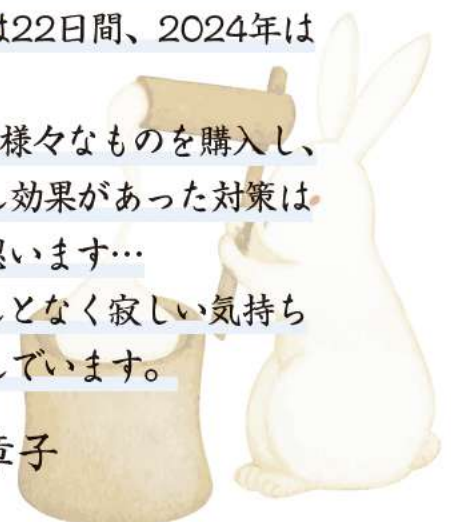
今年の夏は東京で約40℃を記録し、「今年は今までよりも確実に暑い」と思い、気温について調べてみました。

全国的に見ると、平均気温はそこまで大きく上昇しているわけではありませんでした。しかし、1970年代80年代は扇風機だけでも過ごせる程度だったようですが、2010年代になると、急激に35℃以上の猛暑日が増加し、2023年には22日間、2024年は20日間も記録されていました。

それだけ暑いと様々な暑さ対策グッズを揃えたくなり、今年は様々なものを購入し、対策をしながら通勤していました。振り返ってみると、いちばん効果があった対策は早起きをして少しでも空いている電車に乗ることだったように思います…

早く涼しくなってほしいと思っていましたが、秋になるとなんとなく寂しい気持ちになります。今後は寒さ対策を整えていかなければ！と意気込んでいます。

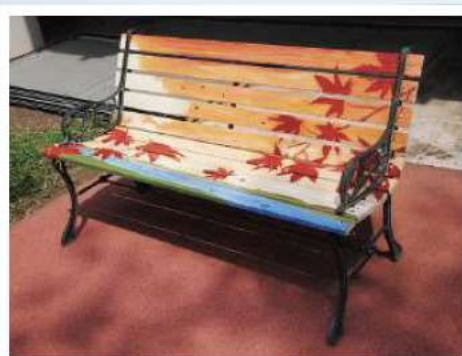
品川総合福祉センター かもめ園 副施設長 加藤章子



しなふくの窓



このコーナーは普段は目に留まらないちょっとしたホッとするものをしなふくの「窓」を通して写真で紹介するコーナーです。



▲しなふくの秋は「紅葉」フェスタ！

前号に引き続き、かもめ園の園庭にある職員と利用者が制作したベンチを紹介します。今回は、紅葉したかえでの葉が散る様子が描かれた秋のベンチをお見せします。

かえでは花言葉があるのをご存じでしょうか。春に小さく控えめな花が咲く様子から「遠慮」という花言葉があります。また、季節の移り変わりとともに葉の色が変化することから「美しい変化」、大切な人と見た美しい紅葉の情景から「大切な思い出」などの花言葉がつけられています。今年の秋は、花言葉を思い出しながら美しい紅葉の姿を鑑賞してみてください。

しなふく紅葉フェスタ

10月26日(日)

開催時間：11:00～14:30

場所：品川総合福祉センター 本部駐車場
(品川区八潮5-1-1)

内容：八潮学園吹奏学部・八潮太鼓・
リズム舞踊・ファッションショー
模擬店・作品販売 他



1面写真解説

タイ王国大使館の皆さま 来訪！

令和7年7月22日(火)、タイ王国ラーマ10世の誕生日の祝賀イベントとして、タイ王国大使館の皆様が来訪され、かえで荘・かもめ園・さつきのご利用者と交流しました。



正職員
非常勤職員
学生アルバイト

大募集!!

まずは興味のある施設の見学をしてみませんか？

募集施設 品川区内の高齢者施設・障害者施設・保育園

募集職種 介護士・生活支援員・保育士

介護支援専門員・看護師 等

応募・問合せ先 社会福祉法人品川総合福祉センター 総務課

メールアドレス soumu@shinafuku.org

電話番号 03-3790-4729

受付時間 平日 9:00～17:00